

梶原四丁目用地利活用事業に関する事業説明



令和3年9月

鎌倉市・
株式会社アイネット

これまでの取組と経過

年月	内容
平成30(2018)年 3 月	鎌倉市公的不動産利活用推進方針を策定 【梶原四丁目用地の利活用基本方針】 → 自然環境を生かした、市民への開放を含む利活用と企業誘致
令和 2 (2020)年10月	事業者選定審査会（令和元年 6 月設置）による選考 → 優先交渉権者を決定
令和 3 (2021)年 3 月	優先交渉権者が交渉権を辞退 → 次点交渉権者である株式会社アイネットに交渉申入れ、了承。協議開始
令和 3 (2021)年 8 月	株式会社アイネットと基本協定の締結 → 相互の基本姿勢、必要な準備行為への着手、守秘義務、協定の有効期限等に関する事項等

- 設 立 1971年4月22日（創業50周年）
- 本 社 横浜市西区みなとみらい3-3-1
- 資本金 3,203百万円
- 事業 情報処理サービス、システム開発
- 子会社 株式会社ISTソフトウェア
株式会社ソフトウェアコントロール
株式会社アイネット・データサービス
（障がい者雇用特例子会社）
- 社員数 1,726名（連結）1,012名（単独）
- 財団 公益財団法人 アイネット地域振興財団
（NPO法人やボランティア団体等への支援）



情報技術でEnjoy Life を応援します！

ガソリンスタンドの 受託計算 / 決済サービス

- 当社の創業ビジネス
- 国内シェアトップクラス



システム開発

- ソフトウェア開発
- データビジネス、AIサービス
- 宇宙開発(衛星設計)



データセンター サービス

- 全国で事業展開
横浜の自社保有のデータセンター 4 棟に加え、北海道、長野、大阪に提携データセンターを保有しています。
- 最新のクラウドデータセンター



プリント・ メーキングサービス

- 印刷～封入封緘～発送をフルサポート
- クレジットカード利用明細、納税通知書など
生活に密着したサービス



① 障がい者雇用の促進

株式会社アイネット・データサービス

- 設立 2009年4月1日（12周年）

障がいのある方に活躍の場を提供し、
自律を支援することを目的に特例子会社（厚生労働大臣認定）を設立

- 事業内容



データ入力



スキャニング



軽作業



名刺作成 他

- 従業員数 29名（障がい者数20名）

自立 成長 自律

② 子育て・女性活躍支援サイトの成長

働くママ応援し隊

横浜市内保育施設情報検索サイトを開設

育児に、仕事に、
頑張るパパママの保活を応援します！



URL⇒<https://kosodate.inet.co.jp/>

① 最先端IT研究・開発事業

- ・ AIを駆使した情報分析：予兆検知や作業の効率化などを実現
- ・ 次世代コンピューターや機器：他企業と連携して開発・検証

② データセンター事業

- ・ データ処理のインフラを提供：コンピューター、ストレージ、ネットワーク、ソフトウェアなど
- ・ 情報処理に絡んで、データインプット作業等のBPO業務も実施

③ 財団事業 公益財団法人アイネット地域振興財団 (2020年1月 公益認定を取得)

神奈川県域で以下の事業を行います

社会貢献活動を行う団体・NPO法人等に対する各種助成金の助成を通じて地域支援に貢献

- 以下に関する活動を行う団体等の持続性やその活動を支援・助成または評価・顕彰する事業
 - ・ 子ども・青少年の健全な育成、教育
 - ・ スポーツ等を通じた心身の健全な発展
 - ・ 公衆衛生の向上、環境保全・整備、地域社会の健全な発展
- その他公益目的を達成するために必要な事業

**最先端IT研究施設の設置（既存建物は解体・撤去します）**

- 最先端IT研究・開発事業
 - ・AIを駆使し、ビッグデータ化する情報を分析し、予兆検知や業務作業の効率化などを実現します。
 - ・次世代のコンピュータやソフトウェア等に関してベンチャー企業等と連携して開発します。
- データセンター事業
 - ・クライアントが大容量データを蓄積・分析するためのデータセンター、インフラを提供します。
- 財団事業 等
 - ・さまざまな社会貢献活動・NPO活動を支援・助成します。
 - ・NPOと連携し、AI・プログラミング教室の実施、小中学校情報教育への連携を想定しています。
 - ・施設の屋内に市民利用が可能な100m超の会議室を提供します。
- 災害時の対応
 - ・研究所の一部を避難所として開放します。
 - ・自家発電設備により、携帯電話への充電などを提供します。

**グラウンド整備**

- ・グラウンドを整備して一般市民へ終日利用開放します。
- ・子供をグラウンドで遊ばせながら仕事ができるようなアウトドアテレワークの場を想定しています。

**緑地の整備**

山林は住民の生活に配慮した保安を市民の皆様と共に実施します。

**散策路の整備**

散策路を整備し、開放します。

**橋の補強**

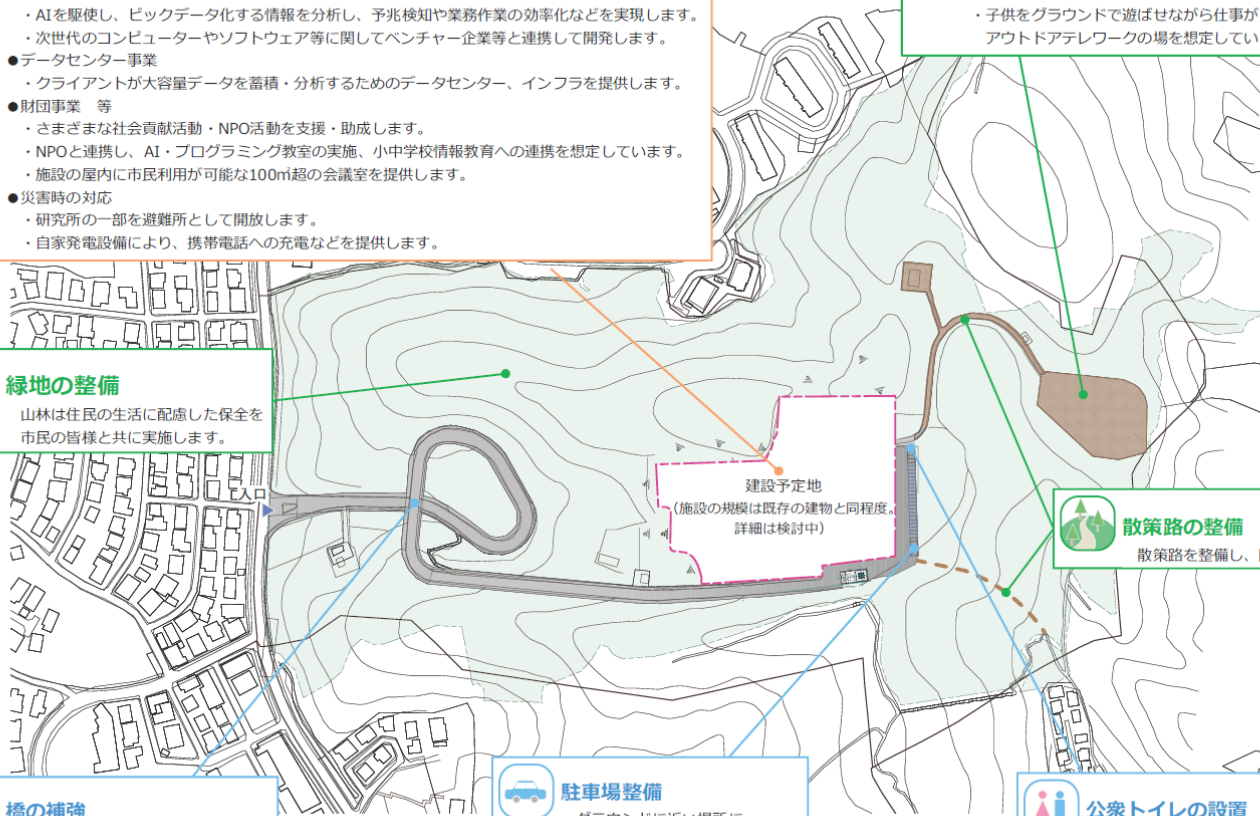
既存橋を補強して活用します。

**駐車場整備**

グラウンドに近い場所に一般開放用の駐車場を設けます。

**公衆トイレの設置**

一般開放用の公衆トイレを設けます。



橋の補強 既存建物の解体	事業者の負担により、橋の補強や既存建物の解体工事が行われます。 ・安全で継続的な一般開放と本市の費用負担軽減につながります。
事業対象地の一般開放 (グラウンド含む)	事業者の管理により、グラウンドや散策路の一般開放が行われます。 合わせて、一般開放利用者のための駐車場も整備されます。 ・一般開放の継続と利用者の利便性向上につながります。
山地等の日常管理など	事業者により、日常的な山地等の管理が行われます。 ・市民団体等との協働も行われる予定です。
利便施設の提供	新たに建築する施設の屋内に、 市民利用が可能な会議スペース（100㎡超）が提供されます。 併せて、一般開放利用者が使用可能なトイレも整備されます。 ・地域における多様な活動につながります。
災害時等の協力	自然災害等が発生したときに、協力体制が確保されます。 ・救護等の協力が得られることで、より安心な一般開放につながります。

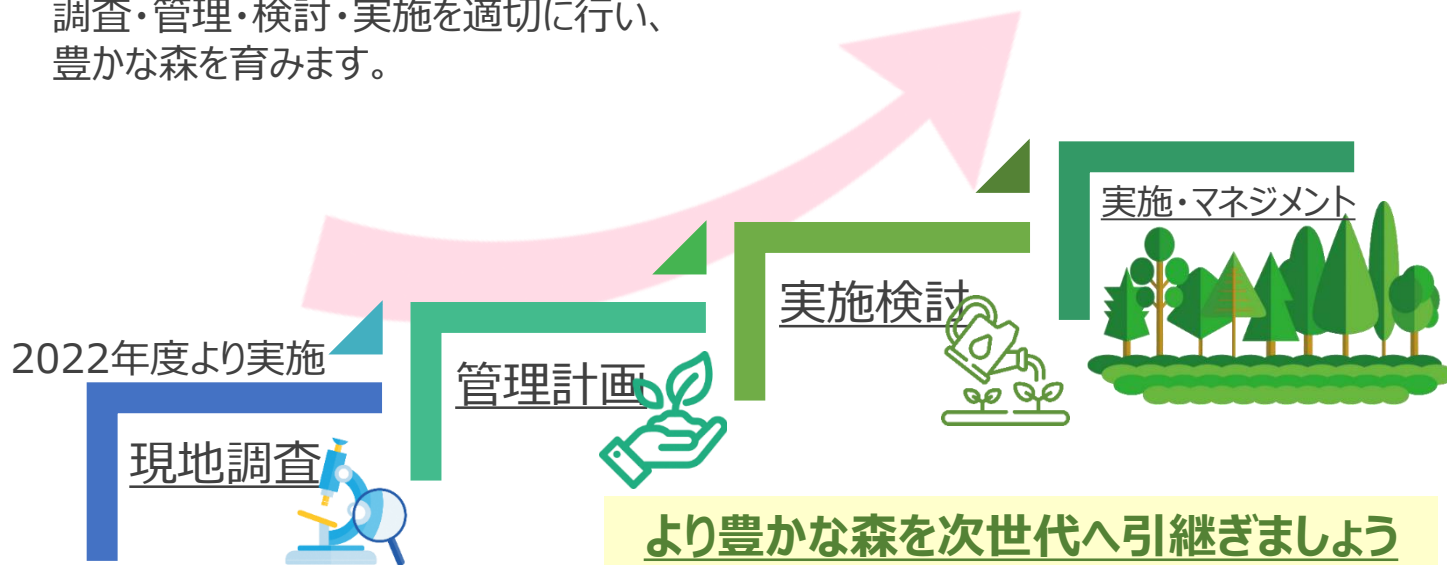
① 『森林の維持』

広く親しまれている鎌倉の森林保全を市民と共に行います。

② 『50年前の森の再生へ』

森林の維持活動を行いつつ、野村総研設立時(50年前)の森への再生活動を行います。

調査・管理・検討・実施を適切に行い、豊かな森を育みます。



協議を進め具体化していきます。

<p>高齢者向けヘルスケア支援 <i>with AI</i></p>	<p>AI の技術を用いて、自宅での脈拍や血圧など健康状態（バイタル）を監視・分析したり、適切なケアを指摘することへの支援が期待されます。</p>
<p>鎌倉市自然環境・建造物の保全 <i>with ドローン/センサー</i></p>	<p>ドローンやセンサーの技術を用いて、対象物の異常の傾向をいち早く察知し、対処のきっかけを作る支援が期待されます。</p>
<p>鎌倉の特性に応じた交通環境の実現 <i>with AI/監視カメラ</i></p>	<p>AIや監視カメラの技術を用いて、地域との調和を図りながら、古都鎌倉の歴史を継承する地域の交通環境整備が期待されます。</p>
<p>防災（津波・洪水・倒木・土砂災害） <i>with AI/監視カメラ</i></p>	<p>AIや監視カメラの技術を用いて、過去のデータと監視カメラ等で収集した現在のデータをAIで分析することにより、防災効果の高まりが期待されます。</p>
<p>緑豊かな教育の場 <i>IT×教育×自然</i></p>	<p>AIを活用した鎌倉植物図鑑作成など、地域教育へのIT の役立やIT教育の支援が期待されます。</p>

令和3年度（2021年度）

8月頃	事業計画書（案）の策定、本市への提出
11月末 ～12月	基本契約の締結 （※当初の予定は10月頃）

令和4年度（2022年度）

12月頃	既存橋の補強等費用の算出・提示、貸付料の確定
3月頃	市議会の議決を得た上で次の契約を締結
	・既存の橋や建物について、事業者が工事を行ってもらうために必要な無償譲渡契約
	・上記の工事と提案施設の建設期間について、事業者が工事を行うために土地を無償で使用することに関する契約
	・提案施設が完成した後、事業者が提案した事業のために土地を有償で40年間使用することに関する契約

令和5年度（2023年度）

7月頃	既存橋の補強工事着工（翌年1月頃工事完了）
1月頃	既存建物の撤去、提案施設（外構含む）の工事着工

令和7年度（2025年度）

4月頃	提案施設の竣工・供用開始（令和47年（2065年）まで）
-----	------------------------------

* 今後の取組状況に応じて、スケジュールに変更が生じる可能性があります。